

Microsoft 365 可視化・分析ソリューション

Microsoft 365・Teams・Zoom・Webex・Salesforce・オンライン会議

データシート

お客様の課題

クラウドベースのアプリケーション、Microsoft 365、Teams、Zoom、Webex、メール及びオンライン会議アプリケーション等が全社で使用する前提で急速に普及しました。次のような懸案はないでしょうか？



- どれくらいのネットワーク容量を使用しているかわからない
- 回線の容量は足りているのか
- 他の業務アプリケーションに悪影響を及ぼしていないか
- プロキシ配下なのでどこと通信しているかわからない
- Windows、Office アップデートのタイミングはいつがいいのか

Flowmon は、そのようなお客様の課題を解決できます。

Flowmon ができること



Flowmon プローブ

- IP アドレス、プロトコル、サーバー応答時間、ラウンドトリップ時間、ジッタなどに関する L2 ~ L4 情報を取得
- トラフィックのカプセル化を解除
- ホスト名、HTTP/S、DNS、DHCP、SQL、SMTP、Samba/CIFS などL7 データを取得
- パケットデータをフローデータに変換

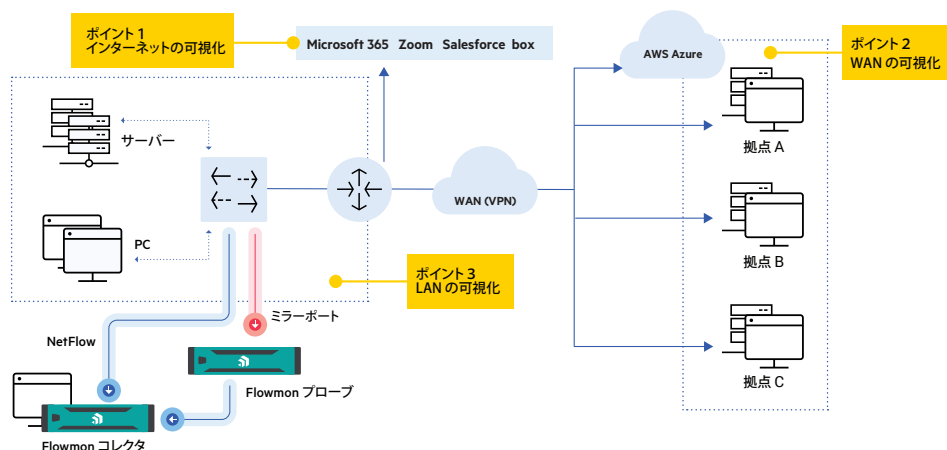


Flowmon コレクタ

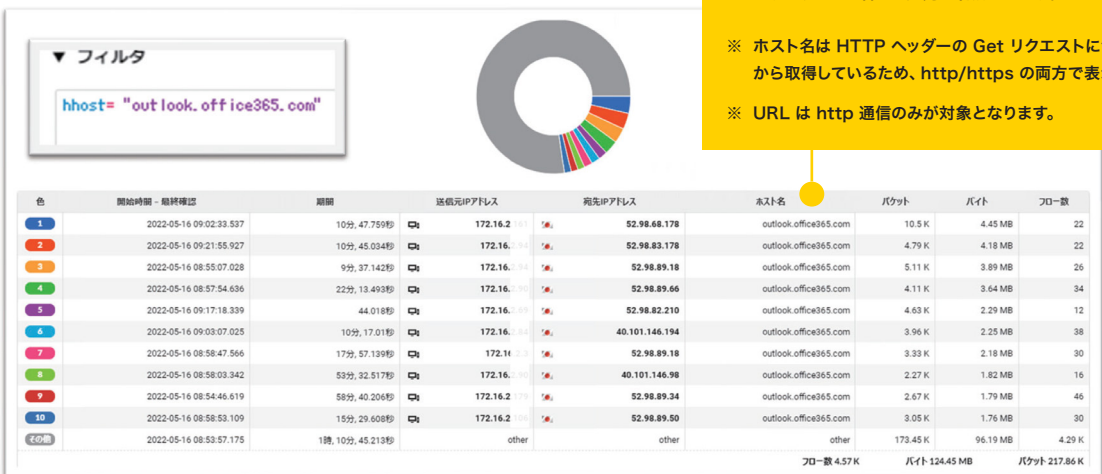
- 分析エンジン
- 帯域幅、BYOD、ネットワークトラフィック、LAN/WAN、AP とネットワークの遅延監視
- フローデータの取り込み

※ NetFlow (通信ログ) は対応した NW 機器から直接、もしくはプローブ経由でコレクタに送ることができます。

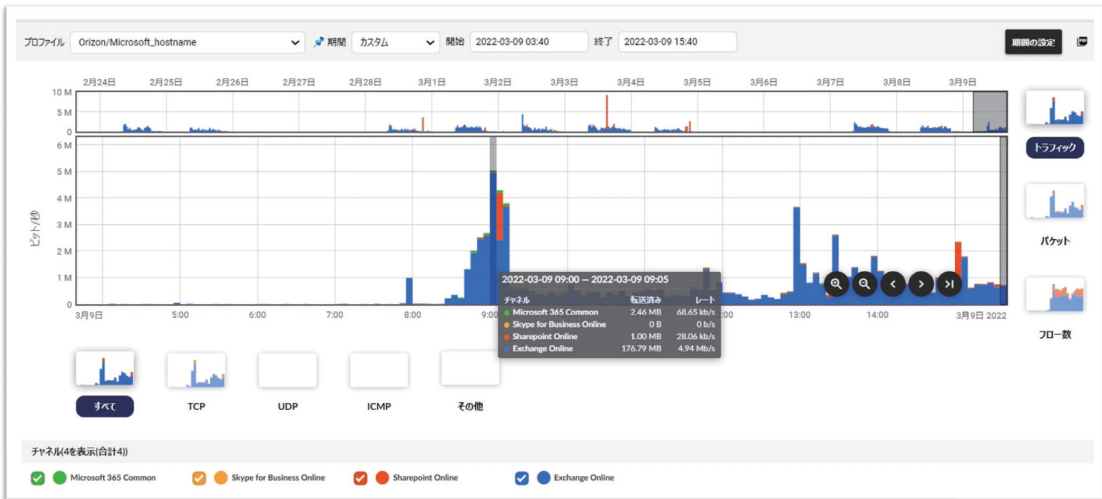
※ NetFlow はパケットの 1/500 程度のデータサイズのため、長期的に通信ログデータを保存できます。



プローブを使うと、http の URL やホスト名といった L7 の情報も取得できます！



- * プロキシを置いている場合、宛先のIPアドレスはプロキシになりますが、ホスト名から宛先が判別できます。
- ※ ホスト名は HTTP ヘッダーの Get リクエストに含まれるSNI から取得しているため、http/https の両方で表示できます。
- ※ URL は http 通信のみが対象となります。



グローバル IP や http のホスト名から、予めプロファイル (通信のグルーピング機能) を登録しておけば、Microsoft 365 の各サービスの通信状況などをグラフから確認できます。

- IP アドレスがわからなくとも URL、ホスト名情報でデータを取得可能
- 特定のアプリケーションのネットワーク使用量を時系列に把握
- プリセットに登録すれば通信状況をビジュアルにグラフ表示が可能
- Windows、Office のアップデートタイミングを把握でき、調整可能

—————▶ Microsoft 365 のネットワーク使用量を確認でき、現状を把握

プリセットに予め登録されていて、すぐに使用可能なアプリケーション

DHCP	DNS	MySQL	Samba	SMTP	Cisco Webex
TLS	Google Workspace	Microsoft 365	Salesforce	Video streaming/sharing	

ユーザー自身でアプリケーションをプリセットに登録することもできます。